

平成24年度 第1回 男女共同参画懇話会 議事録(要約)

日時:平成25年3月13日
午後1時30分～3時30分
場所:佐久情報センター

出席者 14名(委員10名、事務局4名)、委員欠席者 5名

- 1、開会
- 2、委員委嘱書交付
- 3、柳田市長あいさつ
- 4、自己紹介
- 5、会長および副会長の選出
- 6、会議事項

(1)男女共同参画事業の取り組みについて…資料1、2、3、4、5
(事務局より説明)

[質疑・意見等]

(委員) 懇話会の25年度の予定をお知らせください。

(事務局) 条例策定のために皆さんのご意見をお聞きしていくということで、来年度は3回を予定しています。次回は5月中旬、それ以降は8月、11月を予定しています。

[質疑・意見等]

(委員) 25年度としてやっていただきたいことで、まず1点は、女性リーダー研修が平成2年から女性の地位向上を目的に始まったと思います。男女共同参画の事業への男性の参加が少なく、男性に理解してもらうには、まさに女性リーダー研修で、この事業に男性をいかに引き込んでいくかを考えてやってほしい。

2点目は審議会等への女性の登用の割合が上がっていない。充て職でいくつも引き受けて、一人で何役もやることは意味がなく、一人一役で多くの方に経験をさせていただくことが大事かと思います。

(会長) 今のご指摘は、男女共同参画をやっている中で、考えなくてはいけないことだと感じています。佐久市の男女共同参画に関しての推進等に男性を対象としたやり方をどうしていくかが1つの問題。

もう1つは、男女共同参画のいろいろな場に、男性がほとんど参加しない、参加できる仕組みができない。また、男性は自分たちの問題でないと思っているなど、男性の理

解を今後どうしていくかが問題であると思います。懇話会や事務局を含めてみんなで考えていきたいと思います。

また、女性が充て職で、一人でいくつもの場に出ざるを得ないという状況についてどうするか、今後、具体的な運営の仕方を検討次第ではできるように思えます。委員のみなさんも女性を多く参加できるように仕向けてほしいと思います。

(委員) 男女共同参画について女性だけでなく男性にも一緒に関わっていただきたいという意見がありましたが、私もまさにそう感じています。女性会議などへ行っても、大変いいお話をしていただいても、その場に一緒に暮らしている男性がいたらもっとうまく進むんじゃないか。私は、今はできるだけ夫と二人で出ています。自分の身近なところから初めていかないと前へ進まないという思いでいます。

(会長) どうやって男性を参加させられるかを念頭に置いて事業を進めていっていただきたい。先ほど来からのプランの目標値を達成するためには具体的施策が今の状態でいいのかということも見直しながら、年間事業として係また市の事業の中で考えていただきたい。

[質疑・意見等]

(委員) 働いている中で、女性であるがゆえに思うようにできない社会で、事業主に対してのアプローチなどは今までなかったのでしょうか。

(事務局) 今まで男女共同参画としては、事業主に対して特化したアプローチというのは特にありませんでした。それぞれの部署・部門があって、それぞれの中で研修会、勉強会、懇話会などはあったかと思いますが、横断的に男女共同参画のワーク・ライフ・バランスをやっていくとなると、それぞれと連携してやらないと窓口が一本化できないと思いますので、男女共生係で窓口を持って事業主に対して、勉強会を25年度は開催します。それにあたって個々にいろんなケースで問題が出てくれば担当部署に加わってもらわないと解決できない問題もあります。特に私たちはまず入り口で相談にのる、そういったフォローを私たちの方で受けましょうということでこれからは進めていきたいと思います。

(会長) 是非、企業の理解を得られるような佐久の風土を作っていただければと思います。これで議事を終わりたいと思います。このあと古田先生の講演に移りたいと思います。

7、講話

演題:「地域で男女共同参画をすすめるために」

講師:長野大学 環境ツーリズム学部 古田睦美教授

8、閉会